生きがい通信

No.178

公益社団法人 習志野市シルバー人材センター

習志野市屋敷4-6-6 東部保健福祉センター内
TEL493-8011　FAX493-8040
URL:http://www.sjc.ne.jp/narashino/　E-mail:narashino@sjc.ne.jp

令和元年9月30日現在
会員数:968名
男性768名 女性200名

ならしのシルバーフェア開催

令和元年10月3日(木)から5日(土)に掛けて「ならしのシルバーフェア」を開催しました。

当センターのシルバーフェアは、平成21年度にスタートし、平成26年度からは理事会で実行委員会規約等について承認をいただき、センターの普及啓発、文化意識の高揚を図り、心豊かな生活、地域社会の実現に寄与することを目的として毎年開催し、今年で第11回目の開催となりました。

- **筆　耕**　出展者6名　作品数24点
- **書道教室**　出展者18名　作品数51点
- **絵　画**　出展者7名　作品数12点
- **写　真**　出展者6名　作品数15点
- **手 工 芸**　出展者3名　作品数8点
- **女性の会**　出展者18名　作品数39点

【総出展者62名、総作品数153点】

会場には、公務ご多忙の中、宮本市長、菅原保健福祉部長が来場され、吉野会長、市瀬常務理事のご案内で鑑賞され、心温まるお言葉を頂きました。

開催中の三日間、会場内には芸術論、出展作品に纏わるエピソード、談笑、自由闊達な雰囲気が横溢していました。

公益社団法人習志野市シルバー人材センターとして「心豊かな市民生活、活力ある地域社会」の実現に貢献することができましたことは作品を出展された方々、8月8日から約2か月に渡り取り組まれた事務局職員、実行委員会並びに携われた方々のご支援・ご協力に深く感謝し、今後のシルバーフェアの益々の発展を祈念いたします。

（実行委員長　綾部 秀伸）

行事予定

入会説明会（定例）

毎月第2・第3水曜日
午前9時30分～
シルバー人材センター会議室

就業相談（予約制、会員限定）

毎月第2・第3水曜日
午後1時00分～（30分単位）
シルバー人材センター会議室

刃物研ぎ作業

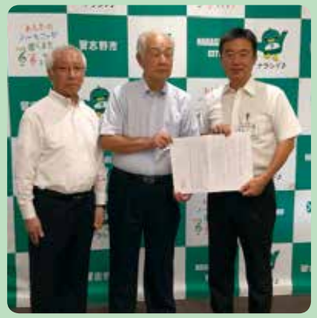
事情により休業とさせていただいております。再開のめどが立ちましたら連絡いたします。
（令和元年度10月現在）

書道教室

毎月第1、第3火曜日
午後1時30分～
シルバー人材センター会議室
※入会希望の方は、シルバー人材センター事務局にお問い合わせください。

（事務局）

市長・市議会議長訪問



令和元年8月9日㈮、吉野会長、綾部副会長、市瀬常務理事が宮本泰介習志野市長、田中真太郎市議会議長と面談し、センター運営状況等の報告を行い、全シ協からの【決議文】を基に「シルバー人材センターへの支援要請活動」を行いました。

シルバーフェスタ inモリシア津田沼

令和元年９月15日(日)モリシア津田沼１Ｆセンターコートにて公益社団法人千葉県シルバー人材センター連合会主催の『シルバーフェスタ』が開催されました。

このシルバーフェスタは【入会促進】【企業新規開拓】を目的に県内で初めての開催となり、地元習志野で行われるということで、吉野会長のあいさつ、市瀬常務理事、酒井就業開拓員の仕事紹介などで協力をさせていただき成功裏に終わりました。

編集後記

令和の第2号。新メンバーも加わって、少しでも楽しんで貰えるような通信をと思います。

7月に信州の友人を夫婦で訪ね、畑でブルーベリーの実を摘んだり持ち帰ったりした。

彼とは此処3年連続で、昔の運動部仲間二人と示めし合せ、都内某所と彼の家とを交互に行き来しながらの一泊二日麻雀に浸っている。(彼は昨年自動麻雀卓を備えた)

一時の「人生100年時代に2千万」ならぬ5百半荘(はんちゃん)を目標に、この会を続けて行く気になり、根回しを始めた。

只、後7、8年は掛かる筈でその為には自分の健康の保持(H)、仲間への感謝(T)、仕事は楽しんで(W)の三つを大切に考えて実現したいと折に願っている。

(H)ヘルス　(T)サンク　(W)ワーク

広報部会

川柳

お題：【食欲】【スポーツ】

歳重ね　できるスポーツ　歩くこと
（吉野 和男　屋敷地区）

スポーツで　絆を結ぶ　PG大会
（橘川 義三　鷺沼台地区）

トイレに又起きて　秋の夜長を持て余す
（赤羽 義郎　谷津地区）

秋になり　何で食べるの　またメタボ
（小倉 紘　谷津地区）

おしまいは　地区対抗リレーで　盛り上がり
（ペンネーム 柿付き昼休憩　花咲地区）

夜もふけて　食欲だけが　わいてくる
（山﨑万里子　東習志野地区）

秋がきた　メタボスポーツ　ダベリング
（ペンネーム 八回転居　大久保地区）

『川柳コーナー』は一旦は休止とさせていただきます。皆様から多くの作品をご応募いただきまして誠にありがとうございました。今後ともよろしくお願いいたします。

就業先訪問 ～Part 1～

アシザワ・ファインテック株式会社

職場訪問

微粒子技術で“新しい可能性の共創”
Ashizawa
アシザワ・ファインテック

創業明治36年、百十余年の歴史を誇る「アシザワ・ファインテック株式会社」を今回は訪問させて戴きました。

代表取締役社長、芦澤直太郎氏は習志野市商工会議所の副会頭をされ、日頃よりシルバー人材センターには甚大なご理解とご協力を頂いております。経営理念は「微粒子技術で新しい可能性の共創」という、まさに新時代に相応しく、社員お一人おひとりが創造性豊かな物作りにチャレンジし「もっと小さく」・「さらに美しく」・「今より先に」を常に考え、地球環境の維持改善に貢献することも目指しております。

取材当日は伊藤崇博マネージャー、齋藤泰宏グループ長が丁寧に応対してくださり、行き届いた接遇には我々シルバーの学ぶところ大でした。

当シルバー人材センターとの派遣契約は『機械洗浄業務』です。

川崎会員、広瀬会員の2名は、主に性能確認テストに使用した機械の洗浄で、パーツひとつひとつを水とブラシで丁寧に洗い、エアーで水分を飛ばして仕上げるという、地味なところにも、少しでも汚れが残っていたらお客様の製品に大きな影響を及ぼす大変繊細な仕事です。幸いに、冷暖房完備の部屋で、社員の方々と毎日充実し、楽しく働いているとのことでした。又、会員の仕事ぶりは大変好評をいただいており、今後にもつながる良いお話、お言葉もいただきました。取材終了後、我々が正門を出るまで頭を下げてお見送りを頂き、一同感激をして帰途につきました。

最後に長時間にわたり取材協力いただきました伊藤様、齋藤様、川崎会員、広瀬会員に心よりお礼申し上げます。今後の更なるご発展を祈念申し上げます。

（広報部会長　赤羽義郎）

写真　手前：川崎会員
奥：広瀬会員

私のふるさと紹介

行方 愼一郎（屋敷地区）

東京生まれ、千葉育ちの私にはふるさとの意識はあまりありません。そんな中でふるさととして心に浮かぶのは、菩提寺と行方家発祥の家（現在姉夫婦が居住）が残っている山形県米沢市芳泉町です。行方の家は過去帳によると上杉藩の下級武士で、半農半士の原方衆だったと伝えられています。松川（最上川）の流れでできた緩やかな扇状地に屋敷と畑があり、周りには林檎や桃、栗や柿の木が植えられていて、今でもほとんどの野菜を自給自足しています。真冬になると積雪が1㍍近くにもなり、白い世界に閉ざされますが、雪がとけて春になると一斉に緑が芽吹き、ワラビやゼンマイ、タラの芽、蕗のとう、こごみなどの山菜が家の傍で収穫できます。茹でて食べると自然の美味しさが口の中に広がってきます。時には思わぬ訪問者もあります。カモシカ、クマ、タヌキなどです。どうもクマは柿を食べに来るようで、幹に爪痕が残っています。

母屋は茅葺き屋根の武家住宅造りでしたが、明治後期までに現在の形に建て替えられたようです。家の周りにはとげとげの「うこぎ垣根」があり、新芽を摘んでお浸しにして食べています。

時々この地に来ると、自然と人間社会の四百年を超える営みを感じ、心に安らぎを憶えます。

そして、今の私がいると。

地区対抗親睦パークゴルフ大会

10月6日㈰茜浜パークゴルフ場にて、当センター総務部会主催による『地区対抗親睦パークゴルフ大会』が開催されました。秋空の下、総勢48名の参加により賑やかに行われました。

競技は各地区のチーム対抗戦。各地区より最高6名参加で上位4名のスコア順位で各賞にメダルと表彰状が授与されました。

表彰地区とプレイヤー（敬称略）

優　勝：東習志野地区
（樋口、小林、観野、竹内、須藤、池田）

準優勝：藤崎地区
（高野、古谷、土橋、田久保、竹内）

3　位：秋津・香澄地区
（海老原、佐藤、本谷、為井、片岡）

プレー終了後の表彰式は団体表彰の他、個人賞としてベスグロの高橋生次さん（袖ヶ浦地区）、ホールインワンを達成された秋元敏明さん（津田沼地区）杉村茂夫さん（大久保地区）にも特別賞が渡されました。

参加者の皆様、また企画から各種手配までご尽力いただきました総務部会の方々誠にありがとうございました。

（広報部会）

優勝の東習志野地区